

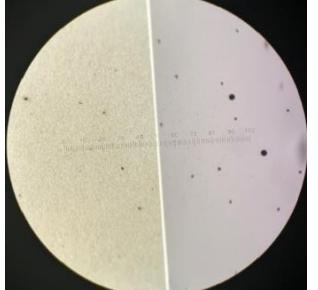
0000/00/00

株式会社 0000

御中

群馬自動車燃料販売株式会社 担当：0000

## 簡易分析 結果報告書

機器基本情報								
機器名	油圧機 〇号機	使用油種	モービル10EXCEL32					
油量 (L)	160L	サンプリング箇所	タンク中層					
前回油交換	0000/00/00	オイル採取日	0000/00/00					
レベルゲージ	少ない	適正	多い	タンク油温	良好	注意		
分析結果（試験項目の試験方法、意義、解釈については別途資料参照下さい。） 緑：良好 黄：注意 赤：要是正								
試験項目	分析結果	分析結果	(参考) 管理基準案					
色相（簡易ASTM）	0.5以下	3.5以上	4以下		4以上			
外観（目視）	清澄	清澄	清澄	微濁	混濁			
沈殿物（静置2日後）	—	ない	ない	あり				
動粘度（ビスゲージ）	32	—	29~35	~29/35~				
水分（簡易クラックル法）	—	0.1以下	0.1以下	0.1以上				
劣化度（フィルタ色判断）	無色	無色	無色	やや褐色	褐色			
汚染度（簡易NAS等級）	—	6級相当以上	7級以下	7級以上				
総合評価	—	良好	良好	注意	要是正			
サンプルの外観	フィルタの写真（劣化度判断）	顕微鏡の写真（汚染度判断）						
								
※二日間静置し観察 目視による外観は清澄である。また、沈殿物もみられない。	フィルタの色から劣化の傾向が弱いと考えられる。	10µ前後の物質が少量みられる。 光沢の金属摩耗と思われる物質と黒色の酸化した金属摩耗だと思われる物質が見受けられる						
分析結果の総評と今後の対策のご提案								
分析結果概要				今後の対策				
・オイル劣化傾向は弱いと考えられる。 また、汚染物質も基準値以下であると考えられる。				・オイルおよび機器にアクション不要と考えます。 分析結果の各項目はすべて推奨許容範囲内にあると考え、 オイルの状態を定期的に分析し、傾向の変化を観察してください。 ・次の計画された周期でサンプルを採取してください。 ご不明な点がありましたら、貴社ご担当窓口までお問い合わせください。				